

あなたの笑顔が見たい



ボランティア。ボランティアとは、自主的に社会事業などに参加し、無償の奉仕活動をする人のことです。

1995年に起こった阪神淡路大震災。未曾有の大震災の時には、多くの方が被災地に向かい、ボランティアとして活躍しました。社会に役立つ活動をする人が増え、それぞれができる範囲で、できることをする世の中になってきました。

本市でも、多くのボランティア活動団体があり、多方面で活躍しています。その一部ですが、皆さんの活動の様子をご紹介します。

あなたにもできること、一歩踏み出してみたいはかがでしょう。

少しでも牛窓の良さを 感じてもらいたい

牛窓観光ボランティアガイド

ガイドブックにはない
おもしろい話も紹介

「ようこそ、牛窓へいらつしやいました」。牛窓観光ボランティアガイドの皆さんが、観光客の皆さんをお出迎えです。牛窓の海遊文化館の玄関先で、そろいのポロシャツにキャップ、手にはハンドマイクといういでたち。

休日ともなれば、観光バスの一
行や家族連れが大勢訪れる港町牛
窓。牛窓観光ボランティアの皆さんは、江戸時代の港町の面影が漂う「しおまち唐琴通り」や前島の
大坂城残石群の案内を主な活動と
しています。

4月から岡山ステイネーション
ンキャンペーンも行われていて、
毎土・日・祝日は、大勢の観光客

の皆さんのおもてなしをしています。多い時は、1000人を超える
団体を案内することもあり、観光
バス1台単位くらいでグループに
分け、時間差で町並みを案内しま
す。

牛窓観光ボランティアの皆さん
は、牛窓や瀬戸内の歴史、ガイド
ブックには紹介されていないおもしろい話を交えながら、旅のひと
ときを観光客の皆さんと一緒に過
ごしています。

今までの功績が認められ 表彰受賞

そのような今までの活動の功績

が認められ、本年5月に、岡山県
観光連盟から表彰を受けました。

「牛窓再発見の会」から転進し、「牛
窓観光ボランティアガイド」とし
て活動を始め19年。「これからも、
多くの観光客の皆さんに、少しで
も牛窓の良さを感じてもらいたい、気
持ちよく楽しんでもらいたい」と
いう気持ちを大切に、活動してい
きます。

毎月、観光案内のための勉強会
も行い、ますますグレードアップ
する牛窓観光ボランティアの皆さん。
今日も、いきいきとおもてな
しです。



牛窓秋祭りには欠かせない、船大工の技が随所に
感じ取れるだんじりの説明も熱心に



唐子踊や朝鮮通信使など、牛窓の歴史や魅力を伝
えます



牛窓観光ボランティア代表
吉田洋一さん（63歳・牛窓町牛窓）

牛窓の古い町並みの保存や、この
地であった歴史を語る人たちが、少
なくなってきました。わたしたち
にできるなら、なんとかこれからも、
長く語り継いでいきたいと思います。

チームのみんなも、できる範囲で
ボランティアガイドをして、頑張っ
ています。年に数回の参加でもいい
ので、もっと多くの人に、気軽にチ
ームに入ってきてほしいです。

連絡先 牛窓町観光協会

☎0869-34-5250